

と う な ん し く つ

当難勿屈

山形市立高楯中学校
学校たより
令和4年
5月26日発行

第 71 回創立記念式

5月6日（金）に第71回創立記念式を、同窓会副会長 齋藤吉雄様とPTA会長 遠藤倫様のご臨席を賜り、挙行しました。本校は昭和27年に高瀬村・楯山村組合立「高楯中学校」として創設されました。その当時、体育館はまだ建設されておらず、第1回目の卒業式は何とグラウンドで行われたそうです。体育館が完成し、室内で式ができるようになったのは3年後だったとのことです。本校は「地域探訪」や「べにばな栽培」等の地域学習でも、たくさんの先輩方そして地域の方々に支えられています。校舎に、そして先輩たちに、地域の方々に感謝していきましょう。



創立記念式 祝辞

第71回創立記念日を迎え、誠におめでとうございます。重ねてお祝いを申し上げます。

さて、本校70年前に揮毫（きごう）した作品が3点あります。その中の1点が「出藍の誉れ（しゅつらんのほまれ）」です。（中略）釈文は、『学問は「終わった」と思っているといけない。学問というものは、次から次へと発展していく。だから「ここで終わり」と努力をやめることはならない、と自分をいましめている。』四字作品の中にこうした奥深いことが秘められているとは、考え深いものがあります。これは高楯中学校の宝として、また地域の宝でもあり、大切に後世に引き継いでいただきたいと思います。

今は、コロナ禍の中で大変ですが、何でもダメだということではなく、どうすればいいのか、やれるのか、常に前向きに考動して行くことを期待申し上げて、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

令和4年5月6日

同窓会副会長 齋藤 吉雄 様

創立 71 回創立記念式 校長式辞

玄関先に整然と並ぶプランター、今年も青々とした紅花の新芽が、日を追う毎に、ぐんぐんと成長しています。遠くに目を移すと、春の訪れとともに一斉に芽吹いた草木の新緑で山々が色づいています。まるで、春の喜びや楽しさを自然が体現しているようです。まさに、俳句の季語に使われる「山笑う」季節となりました。本日はお忙しい中、齋藤吉雄同窓会副会長様、遠藤倫PTA会長様のご臨席を賜り、全校生の皆さんと、こうして高楯中学校第71回創立記念式を挙行できますことを大変嬉しく思います。(中略)

さて、今からさかのぼること約70年前、戦後の混乱期に、高瀬小学校、楯山小学校の校舎の一部をお借りし、肩身の狭い思いをしながら懸命に学んでいた中学生のために、「高瀬、楯山の二つの村が協力して、独立した中学校校舎を造ろう」と、高瀬村・楯山村組合立「高楯中学校」がこの地に誕生したのが、昭和二十七年。この学校の始まりです。高瀬、楯山という村の枠を越えて、長い時間をかけて、熱心に話し合いを重ねる中で育まれた友情と融和の象徴、それが高楯中の校章のモチーフとなった「なでしこ」の花の下にある「2枚の葉」なのです。

当時の先輩方が、物資不足の中、苦勞はしていても学べることに「喜び」を感じ、学校のために「自分達ができること」を考え、一生懸命に労働奉仕していた姿が目に見えます。本校の校是「當難勿屈」～困難なことに直面しても逆境にめげず、挫けないで明るく強く乗り越えよう～という開校時の「心意気」を、あらためて心に刻みたいものです。

昭和59年には、新校舎として、現在のこの校舎ができました。「山形県一の学校にしよう」これは春の生徒総会で当時の生徒会執行部から提案されたスローガンでした。はじめは雲をつかむような目標だと考えた生徒もいたとのことですが、真剣な話し合いの結果、満場一致で決定したそうです。あいさつや部活動、そして生徒会活動で山形県一を目指し努力した先輩方。当時の鈴木千年校長は、「県一を誇る校舎、あとは中味の充実。新校舎にふさわしい『校風』づくり、名門にふさわしい生徒会活動を進めていこう」と熱い思いを語っています。

皆さんの先輩方が目指した「山形県一の学校」とはどのような姿だったのでしょうか。考えてみました。大会やコンテストで県一の称号を得る、それも立派な目標で価値あることです。しかし、先輩方が目指した姿は、きっと「明るい笑顔が輝いている学校」「地域の方々までも元気にする、元気なあいさつが飛び交う学校」「心を込めた掃除で校舎や用具を大切に使う学校」「みんなが好奇心を持って、目を輝かせて学び合う学校」「自分たちでやろうと決めたことに誠実に向き合い、とことんやりきる学校」…などにより「山形県一」「自分や地域を誇れる学校」を目指したのではないのでしょうか。

皆さんの中には、その思いや誇り、そして、良き「校風」や「伝統」が脈々と受け継がれています。苦しいことや困難な状況にも挫けずに、「これぐらいでいいか」と現状に妥協せずに、精一杯挑むことで、はじめて自分を成長させることができます。「當難勿屈」の精神で、工夫し努力した自分を誇らしく思えるのです。その、全校生徒が「精一杯のチャレンジと成長」を目指した姿こそ、「今を生きる皆さん」が創る新たな校風となり伝統となるのだ、と私は思います。

来週の月曜日に予定されている生徒総会では、今年度のスローガン「輝(かがやく)～みんなが主役 輝く絆で 飛躍する生徒会」と、「あいさつ、リスペクト、ボランティア、メディア」の四つの取り組みが提案されます。「私たちの生徒会は私たちが創る」「より良い学校生活は自分たちが創る」。新しい伝統や校風を創っていくのは、他ならぬ、ここにいる皆さんであり、皆さん一人ひとりの「心意気」にかかっているのです。

結びになりますが、本日の創立記念式を契機に、高楯中学校の伝統と校風を、夢と希望をもって新たに創っていくことを期待し、また、ご臨席を賜りました皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願いし、式辞といたします。

令和4年5月6日

山形市立高楯中学校 校長 沢口 肇

令和4年度生徒会スローガンは「輝」！

5月9日（月）今年度の生徒総会が開かれました。
令和4年度の生徒会スローガンは、「輝」（かがやき）です。
また、スローガン達成に向けての重点目標は、

「みんなが主役 輝く絆で 飛躍する生徒会」です。

この「輝」という文字には、3つの輝きを大切にしたい
という思いが込められています。

個性は1人1人異なり、それぞれの良さが必ずあります。
仲間の良いところに目を向け、お互いを尊重し合うことがで
きれば、その人の個性が輝くだけでなく、学校全体に思いやりがあふれていきます。それぞれの
個性が輝き、1人1人が生徒会の主役として、積極的に生徒会活動に参加していきます。

2つ目は、1人1人の個性の輝きが「絆」で仲間と繋がり、さらに大きな光となって輝い
ていきたいという思いを込めました。1人の輝きは小さくても、仲間と繋がってより大きな光
となり、高楯中がさらに輝いていくことを目指します。1人1人の個性の輝きが「絆」で仲間
と繋がることは、SDGsの中の、「ジェンダー平等を実現しよう」、「人や国の不平等をなくそ
う」、「平和と公正をすべての人に」のそれぞれの目標達成にも結びついていくと考えます。こ
れまで以上に仲間との繋がりを大切に、絆を深めていきます。

そして3つ目は、先輩方から受け継いできた高楯中の歴史や伝統を、さらに輝かせるという
意味を込めました。先輩方が築き上げてこられた70年にわたる高楯中の歴史と伝統に、私た
ちの世代の新たなページを刻み、それを次の世代にも引き継いでいく意識を高めていきます。

これらの3つの輝きを大切に、「あいさつ」「リスペクト」「ボランティア」「メディア」の
4つを重点活動に取り組みながら、前に進み続ける高楯中生徒会にしていきます。



紅花を育てています

地域の井上清市先生に教えていただきながら
1年生が4月に植えた紅花が、すくすく育
っています。昨日は、間引きを行いました。
これからも朝や放課後の水やりを頑張ってい
きます。

紅花以外にも昇降口付近には技師長の伊藤
さんや技能技師の小野さん、神保先生が世話
してくれている植物が私たちやお客様を迎え
てくれています。



5月17日～5月19日に学年行事を行いました！

【1年生】山形市少年自然の家で「宿泊研修」を行いました。

5月17日～18日の1泊2日で山形市少年自然の家で宿泊研修に行ってきました。1日目の午前中はポッチャなどのスポーツ、午後からは、野外と体育館に分かれての応援・校歌の練習。そして、夕飯に向けた野外炊飯。コロナ感染症予を活用した火おこしは、各班ともに苦労しながらも楽しく活動できました。すがすがしい自然と天気の中で食べるカレーは最高でした。夜は、プラネタリウムで美しい星空を楽しみました。2日目は、スコアOLです。バラバラになる班は1つもなく、団結力バッチリでした。学級と学年の絆を深めた宿泊研修になりました。



【2年生】「学級旗づくり」「職業講話」「体験型現場学習会」を行いました。



5月17日午前中に高楯地区の株式会社丸勘山形青果市場の社長である井上周士様、山形県リハビリセンターの支援課長である笹原里美様、斎藤建設株式会社専務の斎藤勇司様の3名をお招きし、「職業講話」を行いました。それぞれや生き方について考えることができました。

午後からは、学級旗づくりを行いました。事前に考えたデザインをもとにクラス全員が協力し合って、作品をしあげていました。完成度の高い素晴らしい学級旗です。



5月19日（木）は、2年生で体験型現場学習会を行いました。山形県河川国土交通省と山形県建設業協会の方々にお世話になりました。ドローンにパワースーツ、最新の測量機器など楽しみながら建設業について学びました。自分の将来について考えるきっかけとなりました。この様子は、YTS ゴジダスでも紹介されました。



【3年生】岩手と宮城に「修学旅行」に行ってきました。

5月17日～19日の2泊3日で岩手と宮城に修学旅行に行ってきました。1日目の岩手では、中尊寺、壁掛け傘作り体験、星空ツアーを行いました。国宝である金色堂の平安時代の工艺技术のすばらしさを体感し、また、岩手の壁掛け傘作りを楽しみました。



2日目は、小岩井農場猊鼻溪舟下りで大自然を満喫しました。夜のテーブルマナー研修会は、高級ホテルでの豪華な食事に緊張していたようです。



3日目は宮城県に移動し、仙台うみの杜水族館、スリーエム仙台市科学館、瑞宝殿、仙台市天文台に行きました。幅広い分野について学習を深めました。当初は、東京に行く予定でしたが、東北地方の魅力と素晴らしさを実感した修学旅行になりました。



5月27日よりタブレットの持ち帰りが始まります！



昨年度から市内すべての小中学校に1人1台のタブレット端末が導入されました。ようやく1年生のパスワードなどの設定が整い、様々な授業で活用していきます。

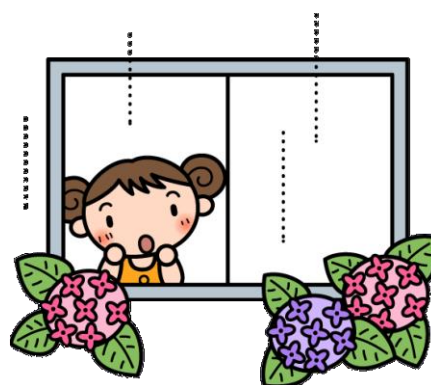
基本ソフトとして「Microsoft teams」がインストールされているのですが、その機能を利用し、学習課題を解決するために必要なデータを全員で共有し考えたり、1枚のシートに班のメンバーが書き込みをしていくホワイトボードのような使い方をしたりしています。早速、3年生では修学旅行の班ごとの振り返りをTeamsで行っています。

また、授業後に習ったことをオンライン上にあるドリル学習をやってみることでちゃんと理解したかを自分で確認することもできます。今週末から家庭への持ち帰りも始まります。

タブレットの使用ルールを守りながら、有効に活用していきましょう。



日	曜日	主な予定
1	水	衣替え いのち輝く安全の日
2	木	耳鼻科検診 定時退校日
3	金	小中連絡会のため、6時間目に 小学校の先生方が授業参観にきます
6	月	PTA 広報部会 生活指導部登下校指導（6・7・8・10）
8	水	いのちの講話（2・3年生）
9	木	校内研究会（5校時日課）定時退校日
10	金	市中総体壮行式
16	木	歯科検診（定時退校日）
18	土	市中総体（授業日です）
19	日	市中総体（授業日です）
21	月	振替休業日
22	火	振替休業日
22	水	高館地区三校連絡会 部活動ミーティング①
23	木	市中総体報告会（朝）定時退校日
24	金	部活動ミーティング②
27	月	部活動なし PTA 広報部
28	火	テスト前部活停止～7/1
30	木	1学期期末テスト（1日目）午前日課
1	金	1学期期末テスト（2日目）午前日課



【 お家の方へ 】

もし、同居している家族の方がPCR検査の対象者になった場合、その結果が判明するまで登校を控えるようにお願いします。その場合、電話連絡でも結構ですが、オンラインによる報告がより確実です。毎日記入いただいている健康観察カードの下の方に「PCR検査報告」があります。特に休日・夜間は学校の電話は通じませんので、ご理解・ご協力ください。

兄弟姉妹の通っている学校が臨時休校になった場合、本人の登校を控えさせる必要がありますかという問い合わせをいただきます。PCR対象者かどうか判明するまで自宅待機をしてください。休校中でも対象者でなく、特に体調が悪くない場合（家族全員が風邪症状がない）場合は登校してもらって結構です。その場合、出席停止として扱います。